

両備ホールディングス 両備テクノカンパニー倉敷工場 竣工

JFEシビル設計施工

両備ホールディングスの社内カンパニー「両備テクノカンパニー」の倉敷工場が2017年6月に完成しました。本工場は、倉敷市の玉島ハーバーアイランド内に位置します。JFEシビルの設計施工で、自動車修理工場(2階建て)、事務所(3階建て)、洗車場(平屋)、危険物屋内貯蔵所(平屋)、脱水機置場(平屋)の鉄骨造5棟からなり、延床面積の合計は3,430平方メートルです。

本工場では、少量多品種のオーダーメイド部品製造、新車架装、消防自動車の製造を行う製造事業とクレーンを主とした重機械整備、大型車両を主とした車両整備の整備事業を行います。設備については、ホイール式の門型自走式クレーンや大気汚染等の環境に配慮した塗装設備等、最新鋭の設備を導入しています。事務所棟には、社員が快適に過ごせるようにデザインにも配慮し、カフェテリア等も設けています。 両備テクノカンパニー: <http://www.ryobi-holdings.jp/techno/>



2017年6月21日(水) 鉄鋼新聞(2)



JFEシビル

岡山で車整備工場を竣工 両備テクノカンパニー向け

JFEシビル(社長 藤井善英氏)は20日、社が設計・施工を行った案件で鉄骨造5棟、延べ床面積は合計3,430平方メートル。最新鋭の設備も導入され、将来の飛躍の核となることが期待される工場となっている。

工場は玉島ハーバーアイランド内に設けられ、2階建ての自動車修理工場、3階建ての事務所、平屋の洗車場と危険物屋内貯蔵所、脱水機置場で構成。少量多品種のオーダーメイド部品製造や新車架装、消防自動車の製造を行う製造事業とクレーンを主とした重機械整備、大型車両を主とした車両整備の整備事業を行う。

設備はホイール式の門型自走式クレーンや大気汚染などの環境に配慮した塗装設備など最新鋭の設備を導入。また、事務所棟には社員が快適に過ごせるようデザインにも配慮し、カフェテリアなども設けている。

脱水機置場で構成。少量多品種のオーダーメイド部品製造や新車架装、消防自動車の製造を行う製造事業とクレーンを主とした重機械整備、大型車両を主とした車両整備の整備事業を行う。